

Pipe Organ

クリスマスコンサート

音楽堂が誇るパイプオルガンの音色をお楽しみいただける
毎年恒例のクリスマスコンサートです。

2021年は古閑裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」による
心に響く音楽とともにクリスマスを彩る特別な演奏会を開催いたします。

出演者一覧

パイプオルガン

小林 英之

東京藝術大学音楽学部卒業、同大学院修了。ドイツ、フランクフルト音楽大学卒業。各地での独奏会のほか、アンサンブルへの参加も多い。オーケストラでオルガン・パートを担当し、神奈川フィル、アンサンブル全沢、東京シティフィル、N響、新日フィル、東京都響、読響の定期演奏会には、ソリストとして出演。また、東京芸術劇場をはじめ各地のホールでオルガン関連事業の企画を担当するほか、中学生、高校生あるいは一般愛好家を対象としたオルガンに関する啓発活動を行っている。東京芸術劇場オルガニスト。



テノール

今尾 滋

早稲田大学法学部卒業後東京藝術大学大学院博士課程を修了。博士号取得。ブダペスト国際音楽コンクール2位。バリトンとして活動した後、《ヴァルキューレ》のジークムントでテノールとして再デビュー。その後《神々の黄昏》のジークフリート《フィデリオ》のプロレストン《サロメ》のヘロデ王等を歌う。ルネ・コロ氏のマスタークラス参加時には往年の名テノールから絶賛された。福島大学教授。東京藝術大学及び国立音楽大学非常勤講師。サントリーホール・オペラアカデミー、コーチングファカルティ。



コンサート・ミストレス

中村 千鶴

福島県立福島女子高等学校卒業後、東京学芸大学卒業、東京藝術大学大学院修了。パッハホール音楽コンクールで第2位、日本クラシック音楽コンクール全国大会入賞。現在、ソロを始め、室内楽や全国のオーケストラで客演奏者を務めるなど演奏活動を行うと共に、日本クラシック音楽コンクール、全日本ジュニアクラシック音楽コンクール等において全国大会審査員や、東京学芸大学、東京音楽大学で非常勤講師を務め、後進の指導にも力を注いでいる。



古閑裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」

ヴァイオリン



河野 美紀子



高木 早紀



戸村 実咲



伊藤 美紀



渡邊 拓真



柏原 悠



齋藤 恭太



橋本 佑里咲

ヴィオラ

チェロ



八島 珠子



大槻 玲香



河原田 潤



東條 茂子



穂苺 由美子



村木 洋子

コントラバス

フルート

チェンバロ

賛美歌編曲者 仲沼 祐太



福島県白河市出身。6歳より作曲を始める。宮城教育大学大学院修士課程音楽教育専修修了。新作の発表の他にも、吹奏楽分野などさまざまなジャンル・編成による作編曲活動を幅広く展開している。作曲を菅野章子、近藤岳、吉川和夫各氏に師事。仙台チェンバーアンサンブル専属作編曲家。日本作曲家協議会会員。

古閑裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」芸術監督

三浦 尚之 福島市音楽文化総合アドバイザー

福島市生まれ。東京芸術大学音楽部附属高校及び大学卒業。
1964年5月東京文化会館小ホールにて、日本史上で二人目のコントラバスソロリサイタル開催。同年7月渡辺暁雄指揮日本フィルハーモニー交響楽団と日本人で最初のコントラバス協奏曲を演奏。
1966年フルブライト奨学生として渡米。ニューヨーク市ジュリアード音楽院博士課程にて学ぶ。1967年レオポルド・ストコフスキー指揮アメリカン交響楽団副主席、1969年メトロポリタン・オペラ・オーケストラ準団員、1971年～1988年ニューヨーク・シティ・オペラ・オーケストラ正団員。
1975年、ミュージック・フロム・ジャパン社を創設。日本の現代音楽をニューヨークを中心に世界各地へ積極的に紹介。
1996年～2001年福島女子短期大学学長（※現福島学院大学）、文部科学省大学設置審議会音楽専門委員会（主査）、文部科学省中央教育審議会芸術部門専門委員、文化庁海外派遣研修員選考委員会（座長）を歴任。
現在、福島市音楽文化総合アドバイザー、ミュージック・フロム・ジャパン理事長兼芸術監督、音楽による福島まちづくり実行委員会委員長、雅の会・ふくしま会長、一般財団法人桜ヶ丘病院理事を兼務。

